

じゅくご こうぞう
熟語の構造(本の説明 p.462)

漢字は一字で使われることより、熟語として使われることの方が多いです。漢字の熟語は成り立ちによっていくつかのグループに分けることができます。その例を下にあげます。

<構造>	<例>
1. 重ねる	ひとひと くにくに 人々・国々
2. 反対 ① (両方の意味)	だいしやう おうふく 大小・往復
② (一方の意味)	たしやう さいないの意)・いどう こと 多少 (少ないの意)・異同 (異なるの意)
3. 同類 ① (～と、～たり)	ふぼ いんじやう 父母・飲食
② (共通の意味)	きやうだい えいきやう 巨大・永久
4. 主語⇔述語 ① (主→述)	じしん ちがふる らいめい かみなり な 地震 (地が震える)・雷鳴 (雷が鳴る)
② (述←主)	ゆうり (利が有る)・たげん 有利 (利が有る)・多言 (言葉が多い)
5. 修飾⇒被修飾 ① (体言)	がいこく (外の国)・ぜんじん (よ ひと) 外国 (外の国)・善人 (善い人)
② (用言)	りんりつ (林のように立つ)・せんどう さき みちび 林立 (林のように立つ)・先導 (先に導く)
6. 述語⇔目的・対象 ① (述→目)	にやうがく (学校に入る)・どくしよ しよもつ 入学 (学校に入る)・読書 (書物を読む)
② (目→述)	しんをくばる せうじやう くきをくべる 心配 (心を配る)・草食 (草を食べる)
7. 「て」でつながる	がし (うて死ぬ)・げいげき むか 餓死 (餓えて死ぬ)・迎撃 (迎えて撃つ)
8. 否定 (不・非・無・未～)	ふあん ひじやう むすう みかん 不安・非常・無数・未完
9. 受身「被」・体言化「所」	ひがい がい (害を受ける)・しよとく え 被害 (害を受ける)・所得 (得たもの)
10. 状態 (～然・如・的・性・化)	ぐうぜん とつじよ こうてき きんせい りよくか 偶然・突如・公的・酸性・緑化
11. その他 省略	こくれん こくさいれんごう げんぱく げんしぱくだん 国連 (国際連合)・原爆 (原子爆弾)
故事など	まじゆん すいこう だそく 矛盾・推敲・蛇足

じゅくご こうぞう
熟語の構造(本の説明 p.462)

名前 ()

『漢字2200』から1～11の構造の熟語を探してみましょう。

1	重ねる	
2	反対	
3	同類	
4	主語⇔述語	
5	修飾⇒被修飾	
6	述語⇔目的・対象	
7	「て」でつながる	
8	否定	
9	被・所	
10	状態	
11	その他	